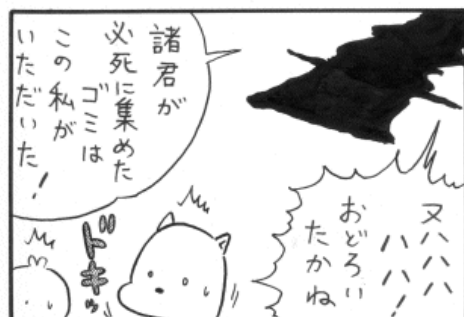


3 R 瓦版 (3 月号)

負けるな!
エコ800くん
作: フジコイトウ



© 2017 フジコ イトウ All Rights Reserved.

「パリ協定」と「SDGs」で企業はどう変わるか?

2015 年は、「地球環境と持続可能な発展」というテーマにとって大きな転機を迎える年になりました。それは、2015 年 12 月に COP21 で「パリ協定」(2016 年 11 月発効)が、また同年 9 月に「SDGs」(持続可能な開発目標)(2016 年 1 月発効)が採択されたことです。これらの詳細は紙面の関係で省略しますが、今回はこの「パリ協定」と「SDGs」で企業はどう変わるか? どう変わっていくのか? について考えてみます。

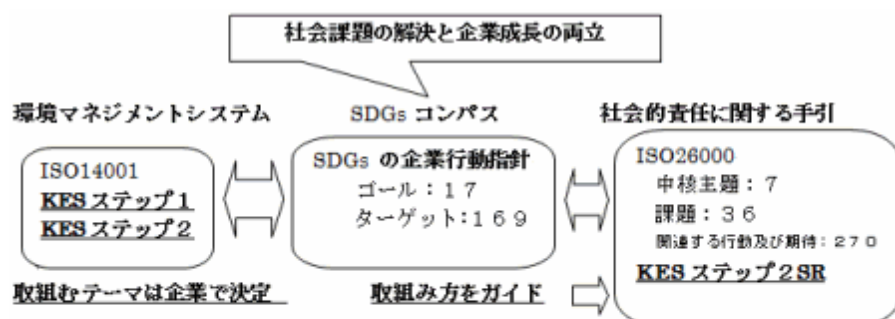
先ず「パリ協定」につきましては、今世紀後半の世界は、“低炭素”を超え“脱炭素”で持続可能な社会の実現を目指します。この超変革は、当然事業活動におけるビジネスモデルへ向けたイノベーションが求められます。

また SDGs は、既に発行されている CSR ガイドラインである ISO26000 (社会的責任に関する手引)の目標が全世界で合意されたもので、企業活動に対して課題解決のための創造性とイノベーションを発揮することを求めています。(SDGs の企業行動指針として“SDGs コンパス”が策定され、わが国でも年内に SDGs 実施指針が策定される予定です。)

従って SDGs は、これまでの CSR 活動を棚卸して、事業と一体化した CSR 戦略を構築する機会と捉え、本業と繋がる活動目標を新たに作っていくことが重要で、今後経営方針・経営戦略に組み込むことが必要と言われています。

KES では 2012 年 10 月から、ISO26000 の要素を導入した“KES ステップ 2 SR”規格を策定し、既に多くの事業者様に活用していただいておりますが、さらに SDGs を活かし KES の取組みにおいて「幅を拡げる」ことや「ステップアップ」を目指す事業者様に活用しやすい“KES ステップ 2 SR”に改訂すべく検討を進めています。

(KES ステップ 1・ステップ 2 および KES ステップ 2 SR と、SDGs の関係は下図の通りです。)



【目標・課題設定の考え方】

<社会課題を解決する>

プラスの付加価値を有する製品・サービスの創造 (将来、何を達成すべきか)
事業活動で発生する社会へのマイナス影響の抑制 (今、何ができるか)

REPAIR
FACTORY

(有)本杉工機

京都府久世郡久御山町田井新荒見 220 番地

tel : 0774-66-6254

NPO 法人 KES 環境機構

専務理事 津村 昭夫